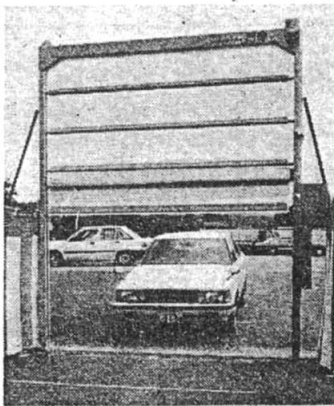


# 異業種間交流実り 自動シャッター開発

.....  
松 江 の  
グループ3社



異業種交流が実を結び、新しく開発されたセンサー付きの自動開閉シャッター

自動制御盤メーカーの小松電機産業（島根県八雲村、小松昭夫社長）は、超音波セン

最大の特徴は、超音波センサーを出入り口に取り付け、車両がシャッターの三ノミまで近づくと、センサーが働き自動的に開閉する。開閉速度は毎秒〇・六メートル〇・九メートルの種類。手動開閉も可能。また、シャッターの材質は鉄板製。

商工会議所の音頭で昨年五月に結成された松江市工業研究会（二十五社加盟）のメンバー。自動シャッターは、五十六年から研究開発に着手。商品化段階で松江市工研のメンバーである段ボールメーカーと電装品メーカー社の協力を得て、完成にこぎつけた。既に島根県内で三十台を販売。近く全国販売に踏み切り、年内をメドに二千台を販売したいとしている。

サーを組み込んだヒール製の自動開閉シャッターを開発、全国販売に乗り出した。新製品は、同社が加盟する松江市内の異業種交流グループ三社のアイデアを集めて完成。関係者らは「これを機に異業種交流をより活発に進め、新製品を続々と誕生させたい」と張り切っている。

開発した自動シャッターは最大幅五メートル、高さ同五メートル。工場の防寒用や工事現場の門扉（び）用として開発。従来の鉄や布に替えて厚さ〇・六ミリのビニールシートを使用して